

- 近年、宇宙から得られる衛星画像や測位情報などのデータが質・量ともに急激に向上し、衛星データを活用したビジネスが世界的に注目。
- 2018年4月に「北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会」を設立し、産学官が連携して、衛星データを利用した新ビジネスの創出に向けて活動。

### ■ 北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会

#### 【設立の趣旨】

- ・衛星データは、広大な面積を持つ本道の農林水産業やインフラ管理などで利用の可能性が高く、新たなビジネスのチャンス。
- ・道では、協議会を立ち上げ、会員に対する情報提供や相談・助言、事業化促進により、道内企業による衛星データ利用ビジネス創出を支援。
- ・この取組を通じて、衛星やロケットなどの機器産業に対する需要を喚起。

#### 【協議会の構成】

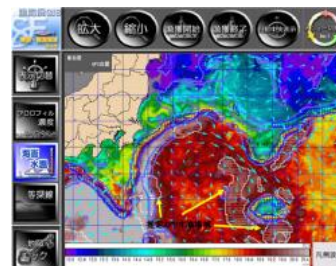
(会長) 北海道経済部長 (副会長) 北海道経済連合会専務理事  
 (幹事会員) 研究機関、関連業界団体、経済団体、金融機関等  
 (アドバイザー) 大学研究者 (オブザーバー) 国出先機関  
 (一般会員) 原則、道内に事業所を有する企業、自治体、農協等  
**(2019年6月末現在：79社) ※会費無料**

#### 【開催実績】

|            | 参加者  | 講師・説明者                   |
|------------|------|--------------------------|
| 第1回 (18.4) | 111名 | 東京大学、北海道大学、内閣府           |
| 第2回 (18.6) | 86名  | 道立総合研究機構、リモートセンシング技術センター |
| 第3回 (18.7) | 88名  | 衛星測位利用推進センター、MSK(株)      |
| 第4回 (19.3) | 103名 | 内閣府、(株)フォルテ、エコモット(株)     |
| 第5回 (19.5) | 93名  | 内閣府、A.T.カーニー、北海道大学       |
| 第6回 (19.7) | 77名  | さくらインターネット、北海道大学         |

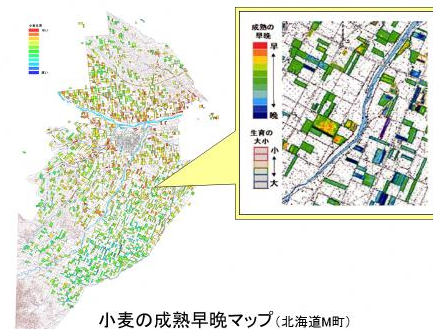


衛星測位による無人トラクタの協調運転  
 (北海道大学 野口伸教授資料)



漁場予測マップ

(北海道大学 齊藤誠一研究推進支援教授資料)



小麦の成熟早晚マップ(北海道M町)  
 (北農研センター資料より引用)

小麦の成熟早晚マップ

(道立総合研究機構中央農業試験場資料)